



ゆみこの日記



災害に強いまちづくりを
—福島市総合防災訓練—

5月23日(土)、松川運動公園で行われた「福島市総合防災訓練」に参加しました。
上水道局ブースでは、最大6リットルの水を運べるウォーターリュック給水袋を体感しました。

5月31日(日)、小倉寺町内会「小倉寺ウォーク」に参加しました。今回初めての企画でしたが、地域の歴史を楽しく辿り、最後に手作りランチで疲れを癒しました。



小倉寺の歴史と自然を満喫

くらしの声を政策に —社民党自治体政策学校—



5月16日(土)・17日(日)、いわき市において「社民党自治体政策学校」が開かれました。
福島みずほ党首やラサール石井幹事長、全国各地の自治体議員の皆さんと交流し、現場で起きている様々な問題について意見交換を行いました。

優勝おめでとう！
若隆景関



五月場所での若隆景関の2度目の優勝に感動しました！
6月4日(木)には荒汐部屋の朝稽古を見学しました。
七月場所でも、若元春関、幕内に初入幕を果たした大青山関をはじめ、荒汐部屋の皆さんの活躍に期待しています。



若元春関(写真・右)と大青山関(同・左)

三浦ゆみこと歩む会



三浦ゆみこの
Instagram、
随時更新中です



ぜひ、「歩む会」会員になってください
〒960-8142
福島市小倉寺字町畑 13
TEL / FAX : (024) 563-1539
E-mail : miura.yumiko5.27@gmail.com

社民党・福島市議会議員



三浦ゆみこと歩む会



AYUMU KAI News Letter No.12

2026年7月



質問に入る前に手話でごあいさつ 「三浦由美子です！一人会派ではございますが、社民党の議員として質問いたします」

きめ細やかな市政をめざして

6月定例会議では、4つの項目について質問いたしました。

一つ目は、「学校給食センターのアレルギー対応食提供」について、食物アレルギーを持つ子どもへのきめ細やかな対応を求める主旨で質問をいたしました。

二つ目は、「新シルバーパスポート」について、新制度発足から1年が経過したことから、利用状況の分析と併せて、利用者からお寄せいただいた声をもとに問題点について質問いたしました。

三つ目は、「旧渡利浄水場の跡地利用」について、今年10月に一部撤去工事が終了することから、地域の声を紹介しながら跡地の活用について質問いたしました。

四つ目は、国会の外交防衛委員会において『自衛官募集目的の名簿提供』についての質疑があったことから、福島市における「自衛隊募集のための情報提供」の現状を確認するための質問をいたしました。

市民の声が届く身近な福島市政の実現のため、私も皆さまとのコミュニケーションを大切に、諸課題に取り組んでまいります。

三浦由美子

三浦ゆみこと歩む会



事務所を開設しました
お気軽にお立ち
寄りください



福島市小倉寺字町畑13
電話：(024) 563-1539

6月議会で一般質問に立ちました — 裏面にダイジェスト版を掲載しています

■ 質問項目 ■

- 1 学校給食センターのアレルギー対応食提供について
- 2 新シルバーパスポートの検証について
- 3 旧渡利浄水場の跡地利用について
- 4 自衛隊募集の情報提供について

すべての子どもに細やかな配慮を アレルギー対応の給食提供について



今年4月から福島市中央学校給食センターの運営が開始となり、そして初めて食物アレルギー4種目に対応（卵・乳・エビ・カニ）する「アレルギー対応食の専用調理室」が完備されました。

しかし、中央学校給食センター管轄外の給食センターではアレルギー対応食の対応ができないため、対象外となる子どもの保護者の方からご意見をいただき質問いたしました。

Q：アレルギー体質を持っているながら食物アレルギー対応食を提供されない子どもの人数と、その理由を含めお伺いします。

A：対象者は336人。南部及び東部給食センターは施設上、アレルギー対応食を提供できず、また単独給食実施校11校のうち5校もアレルギー対応食の提供ができないことが理由。

今年度策定する学校給食基本計画の中で、今後の食物アレルギー対策を含めた学校給食の更なる充実について検討を進めていきたいとの事でした。

傍聴して下さった皆さん、ありがとうございます！



「新シルバーパスポート」発足から1年 もっと使いやすい制度に！



「新シルバーパスポート」について、3月議会で、「申請パターンや地区別・年齢別の利用状況の分析を行っている」と答弁があったことから、市の分析した内容の確認と、利用者から「使いにくい」とご意見をいただいたことから、6月議会で質問いたしました。

Q：タクシー利用時における1回の利用限度額2,000円の制限を見直す必要があると考えるがご所見をお伺いします。

A：1回あたりの利用限度額を2,000円にしているのは、日常的に繰り返し外出機会を実現することを目的としているため、1回あたりの利用金額を引き上げると、外出回数が減り、制度本来の目的が達成されない。利用限度額の見直しについては慎重に判断してまいりたい。



旧浄水場跡地の利活用について

旧渡利浄水場跡地は、今年10月には一部撤去工事が完了することを受け、地元小倉寺町内会の定期総会や春季議会報告・意見交換会で、跡地利活用のご意見をいただいたことから質問いたしました。

Q：旧渡利浄水場跡地の利活用について、どのようにお考えかご所見をお伺いします。

A：地元町内会と、マイカー避難用の一部避難場所として活用の協議を進めている。また、災害への備えとして復旧のための資材置き場や他自治体の応援受け入れ場所として考えている。本来、上水道事業は公営企業であるため、民間事業者への貸付などを中心に資産の有効活用を検討している。

地元から「公園やグラウンドとして利用はできないか？」との声が多く寄せられており、そのように質問をいただきましたが、「上水道事業は公営企業であるため」との答弁に終始しました。

とは言え、他の浄水場跡地では民間事業者が公園事業として請け負う所もあり、全く出来ない訳ではないと思われます。また、水道事業管理者の答弁では「地元町内会と相談しながら進めていく」とも述べられておりますので、地域にとって有効な利活用となるよう注視してまいります。

申請パターン別の利用状況については、《バス・飯坂線とタクシー併用》よりも《バス・飯坂線のみ》を選択された方のほうが利用回数、金額ともに多いこと、《タクシー併用》の方は環境や身体的負担の要因による利用が考えられるとのことでした。

そうした方たちがようやく利用できるようになったと喜ばれた《タクシー併用》ですが、「利用しにくい」との声が多く出されており、こうした市民の声を背景に市の頑なな姿勢を変えていく必要があります。



個人情報「人権」です

自衛隊員募集のための 市による個人情報提供問題について

2020年12月、政府は閣議で「自衛官又は自衛官候補生の募集に関し、必要な資料の提出を防衛省大臣から求められた場合については、市区町村長は住民基本台帳の一部の写しを提出することが可能である」とし、地方公共団体にその旨が通知されました。

これを受けて、本市でも18歳を迎える該当者の個人情報が自衛隊に提供されていることから質問いたしました。

Q：本市は、市が情報提供した該当者に、自衛隊の募集事務への情報提供について了承を求める広報を行っているのかお伺いします。

A：対象者情報は法令に基づき提供している。対象者本人または保護者に対し、情報提供について了承を求めるための広報は行っていない。

Q：情報提供から除外を希望する、いわゆる「除外申請」の手続きについて、市はどのように広報を行っているのか伺う。

A：除外申請に関する、市政だよりやホームページなどによる広報は行っていない。

こうした答弁からもわかる通り、市民の個人情報を本人の了承なしに自衛隊へ提供し、除外申請の情報提供も行っていないことがわかりました。また、該当者にどのようなものが送付されているのか質問したところ、市としては「把握していない」とのこと、今後、「前年度の資料などを見本に提供していただくことを検討したい」との答弁がありました。

▶学校給食センターのアレルギー対応食については、新設された中央学校給食センターは100食まで対応可能な「アレルギー対応食の専用調理室」を完備し、現在78食分のアレルギー対応食が提供されている一方、「専用調理室」がない給食センターが管轄する地域ではアレルギー対応食が提供されていません。まずその時点で公平性に欠けていると思います。食物アレルギーを持つ子どもが増える傾向にある中、すべての子どもたちに安全で楽しい給食が提供できるよう、きめ細やかな対応を求めています。

▶自治体による自衛隊への個人情報提供問題が各地で問題になっています。この件について社民党の福島みずほ参議院議員が外交防衛委員会で質疑を行ったことを受け、福島市ではどう対応されているのか質問しましたが、市は「自衛隊法や自衛隊法施行令、並びに防衛省・総務省からの通知により“特段の問題は生じない”との記述的助言に基づいて行なっている」と、防衛省の国会答弁の丸写しの答弁に終始しました。

国会の外交防衛委員会では「なぜ自衛隊だけが施行令で勝手に個人情報を引き出すことができるのか？」との問いに対し「募集対象者（18歳・22歳）やその保護者に、自衛隊の職務について正しく理解していただくために案内を送付している」との答弁でしたので、市に「対象者にどのような案内が送付されているのか」を質問しましたが、「市としては把握していない」との答弁でした。

本人の意思も聞かずに市民の個人情報を提供している上、「後のことは知らない」というのはあまりにも無責任だと思います。

▶東口再開発の見直しについて、5月21日、市から資材高騰の影響により、4階建てを3階建てに設計変更し、大会議室を民間エリアに移動することで床面積を見直し、工費の圧縮を図るとの説明がありました。

今後も資材及び物価高騰による事業費の負担増や、駅前周辺の活性化が形として見えてこないことが危惧されます。

市に対しては、駅周辺のまちづくりの推進と、ビル完成後の有益な活用について、市民としっかりと情報共有を行い、「市民とともに福島市を盛り上げていく」取り組みをお願いしたいと思います。